

令和 2 年度ナラ枯れ被害調査報告等について

カシノナガキクイムシが媒介する病原菌によってコナラ等の広葉樹が枯死するナラ枯れ被害は、平成 15 年度から県西部から東部に拡大し、現在では減少傾向にあるものの、依然として本市でも被害が発生しています。

ナラ枯れの被害状況調査を実施しましたので、その結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 調査期間 令和 2 年 8 月 1 日～10 月 31 日
2. 被害本数 114 本 (前年度 99 本)
3. 被害本数地域別内訳

(単位:本)

区分	8 月	9 月	10 月	計	前年度	増減	前年度比
	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数		
出雲南部	6	4	7	17	10	7	170.0%
出雲北部	7	4	1	12	9	3	133.3%
平田地域	5	13	13	31	18	13	172.2%
佐田地域	2	7	7	16	3	13	533.3%
多伎地域	2	3	2	7	6	1	116.7%
湖陵地域	3	4	4	11	19	▲ 8	57.9%
大社地域	0	3	0	3	19	▲ 16	15.8%
斐川地域	10	5	2	17	15	2	113.3%
合 計	35	43	36	114	99	15	115.2%

4. 被害の状況

本市においては、平成 25 年度の 2,584 本をピークに被害が減少していますが、今年度の調査では対前年比で 115.2%となっています。

5. 今後の対応

- ・被害拡大防止には、高齢木や大径木を伐採し、山林を若返らせることが必要です。「みんなでつくる出雲の森事業」などにより、伐採、搬出、木材利用等を促し森林の循環につなげていきます。
- ・公園、遊歩道、公道付近など市民生活の安全確保に支障があるものを優先して防除します。
- ・被害木の早期発見・早期駆除のため、ホームページにより市民や森林所有者にナラ枯れ被害に係る情報提供を行います。

参考【県内の圏域ごとの被害推移】

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
東部 (うち出雲市)	2,402 (1,656)	4,633 (2,584)	4,485 (1,916)	2,905 (917)	1,923 (262)	1,713 (209)	1,137 (131)	901 (99)	2,601 (114)
県央	3,661	1,738	2,022	654	385	746	67	59	143
西部	605	294	176	35	290	728	508	430	1,999
隠岐	0	0	0	0	0	1	0	0	21
県全体	6,668	6,665	6,683	3,594	2,598	3,188	1,712	1,390	4,764

※R 2 年度は奥出雲町、吉賀町において被害が増加した。